

『新型コロナウイルス』の感染予防対策につきまして

日頃より、はるかぜ観光バスをご利用いただきありがとうございます。
当社では「新型コロナウイルス感染予防対策」として下記の対応を実施いたします。

1. 各車両にアルコール消毒液の設置、バスを乗降の際に手指の消毒をお願いします。
2. 乗務員が見学地、休憩地にて手すり等の消毒を行います。その際に窓を開け車内の換気も行います。
3. 当社のバスは全車両、乗務員・お客様が触れる部分（手すり・シートベルト・窓枠等）に抗菌・抗ウイルスのコーティングを施しています。（別紙 1 参照）
4. バス車内の空間除菌を行います。（別紙 2 参照）
5. 走行時は「外気導入固定運転」で、常に車内の空気を入れ替えます（別紙 3 参照）
6. 万が一の場合に備えバス車内に隔離スペースを設置できるようにいたします。（別紙 4 参照）
7. 乗務員は運行中マスクを着用させていただきます。
8. お荷物の積み下ろしは手袋を着用して行います。
9. 出社時に乗務員の体温を測定・記録をし、体調管理を徹底いたします。

なお社員全員が日常生活へも気を配り自粛期間以上に健康管理を徹底します。

お客様の「安心・安全」を得られるよう努めてまいります。

何卒ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

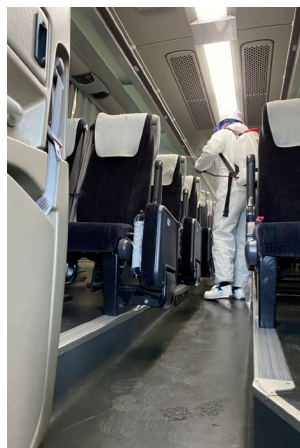
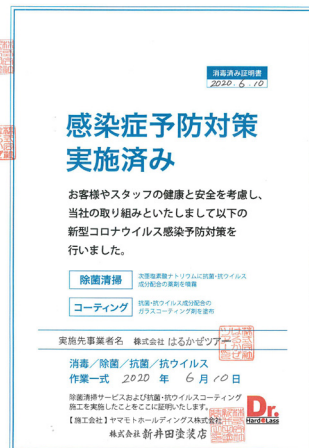


はるかぜ観光バス 鹿島 隆一

1.ドクターハドラス 抗菌・抗ウイルスガラスコーティングについて

接触感染、飛沫感染に対して大きな効果がある、日本で唯一の抗菌・抗ウイルス剤「ドクターハドラス」によるガラスコーティングを、新潟県内で初めて全車に採用いたしました。

抗菌、抗ウイルス剤入り次亜塩素酸ナトリウムで、室内を除菌清掃した後に、手すり・シートベルト・ドリンクホルダー・スイッチ類・ハンドル・荷台・マイク等、くまなくドクターハドラスでコーティングをしました。これにより、約 5 年にわたり、手が触れる部分の菌やウイルスを不活性化します。



2.弱酸性の除菌・消臭剤「ハイクロ M」による空間除菌について

インフルエンザやノロウイルス、O-157 など、食中毒や集団感染を起こすウイルスや菌を、強力な除菌力で不活化させる除菌剤です。既に全国の 2,500 台以上のバス車両や介護施設、保育園などに導入されています。食品添加物製造業認可工場で作られている次亜塩素酸水は、安全で効果も高く、次亜塩素酸イオンの約 80 倍の除菌速度があり、次亜塩素酸ナトリウムの約 4～8 倍の除菌力が実証されています。専用の噴霧器は超音波により 2 ミクロンという超微粒子を作り出し、バスの隅々まで除菌消臭します。



3.走行時の外気導入固定運転について

大型バスは約 5 分・マイクロバスは約 7 分で空気が入れ替わります。また換気性能の低下防止のため、適宜フィルターの清掃・消毒も実施しております。）



天井排気口



車両後部排気口



車外の空気

大型観光バスの室内換気に関しては、車両後方の強制排気（強制的換気）と自然換気を設定しています。



常に『外気導入固定運転』を設定しております

4.体調不良の方の隔離スペースについて

ご希望の方には乗車中に急に体調が悪くなった場合に備えた、着脱可能な隔離カーテンを利用いただけます。

